

根津だより



題字：四家薫 校長先生

No.247

2026年3月23日発行

親子ふれあい活動に、餅つき…幅広い体験ができた秋冬

親子ふれあい活動 バルーンショー

10月5日（日）根津小学校体育館にて、親子ふれあい活動の「バルーンショー」が開催され、当日は大勢の親子が参加しました。



校長先生やPTA会長のお話しのあと、ステージでは軽快な音楽が流れはじめ、みんなで手拍子をする中、バルーンアーティストのMIHARUさんが体育館後方より登場しました！



次から次へと作られていくバルーンの作品に、何が出来上がるのかワクワクしながら見守ったり、完成した作品を見て子供も大人も歓声をあげたりと、ショーは盛り上がりを見せていました。

みんなが知っている曲に合わせて歌ったり、踊ったりもしました。参加している間に完成した素敵なバルーンは、ショーの後半に全員参加のジャンケン大会があり、勝者4名にプレゼントされました。

ショーの最後には子供たち全員へのプレゼントとして、腕につけられるバルーンワンちゃんを1人ずつMIHARUさんより手渡してプレゼントしていただきました。

MIHARUさんが歌ってくれた、「笑顔の魔法」がたくさん溢れた親子ふれあい活動となりました。

親子もちつき大会

12月14日（日）、根津青少年健全育成会主催の「親子もちつき大会」が根津小学校で行われました。当日はあいにくの雨でしたが、杵は昇降口と校庭のテント下に設置し、体育館で食べるという流れに。



子供たちは学年ごとに順番に餅つき体験をし、つきたてのお餅を屋内でゆっくり味わえました。お餅の味は、きなこ・しょうゆ・お汁粉の3種類で、どれも行列ができるほどの人気ぶり。



雨天のためイレギュラーな設営でしたが、スムーズな順路と、体育館に土足のまま入れるよう床に養生まで準備して下さった一役の皆さん、ありがとうございました！



親子ふれあい活動 刑事模擬裁判

2月28日（土）、本校体育館において「親子ふれあい活動」の一環として、東京弁護士会法教育委員会の全面協力のもと、第3回となる「刑事模擬裁判」を開催いたしました。

本プログラムは、児童が司法制度の一端を体験することで、法的なものの考え方（リーガル・マインド）を養うとともに、社会のルールや正義について深く考察することを目的としています。



当日は、事前公募により参加を希望した5・6年生の児童9名が、法廷の主要な役割を担いました。児童たちは事前に配布されたシナリオや証拠資料を精読し、自らの意思で希望の役割を検討して臨みました。弁護人役に人気が集まった際、6年生が5年生に席を譲り、自らは検察官役を引き受けるといふ、最高学年らしい譲り合いと柔軟な合意形成の姿が見られました。



裁判官役の子が実際に法服を着用したほか、被告人役への手錠の再現など、現実の法廷に即した設営がなされました。裁判官の入退場時に全員が起立するなど、司法の厳格な手続きを忠実に再現することで、会場全体に心地よい緊張感が漂いました。

東京弁護士会法教育委員会の皆様のご協力により、教育活動としての質が一段と高まりました。ありがとうございました。

親子ふれあい活動 移動科学教室

3月14日（土）、本校において「親子ふれあい活動」の一環として、文京区教育センターから講師をお招きし、移動科学教室を開催いたしました。

本プログラムは、子供たちに理科や科学の面白さを実感し身近に感じてもらうことを目的としています。



当日は「紙コップの中に虹を見よう」「こまのまわるしくみ」「発見コーナー」の3種類のコーナーを体験しました。



紙コップで簡単に虹が見える道具を作ってその場で蛍光灯を眺めて確認をしたり、いくつかの種類のこまを真剣に回して実験したりする光景もありました。



発見コーナーは、家でもできる身近な実験ということで、実際に児童自らが参加する場面もありました。

普段の学校の理科の授業ではなかなか体験できない貴重な体験をすることができました。本日の体験が家庭でも科学の話をするきっかけになったかと思います。講師としてお越しいただきました教育センターの皆様、貴重な機会をいただきありがとうございました。